# りょうかわ

学校だより　令和元年６月１４日号　新潟市立両川小学校


## 反省的思考で授業力を上げる教師たち

校長　　中村　雅芳

教師という職業は，地方公務員法，教育基本法，教育公務員特例法により６つの義務が規定されています。その一つが，研修の義務「教育公務員は，その職責を遂行するために，絶えず研究と修養に努めなければならない（教特法２１条）」です。教壇に立ち，人を教育するという立場である以上，自分に厳しくあらねばなりません。

当校においても「主体的に学ぶ子どもの育成 ～追究意欲を高める学習課題の工夫～」を今年度の研究主題に掲げ，研究と修養に教師は日々努力しています。６月１２日（水）は，私たちの日々の取組が妥当か否かを確認し合い，よりよい授業を創り上げるために意見を出し合う小・中合同の研修日でした。

研究主任である徳永卓教諭は，先陣を切って社会科の授業を公開しました。題材は「スマート農業（ロボット技術や情報通信技術を活用して省力化や精密化などを進めた次世代農業）」です。ＴＶドラマ「下町ロケット」でも話題になったり，内閣府が発表した「Society 5.0」でも「未来の農業」として紹介されたりした最新の題材です。この題材を地域と関連付けながら，子どもたちが当事者意識をもち，思考・判断・表現していく１時間でした。

子どもたちの様子は写真のとおりです。徳永教諭の問いに対して積極的に手を挙げ，堂々と発言する姿が見られました。多くの参観者がいたにもかかわらず，物怖じしない５年生を，私は誇らしく思いました。

授業の後半ではスマート農業の長所，短所が次々と出され，それらを根拠に最終的な判断が迫られました。

【次から次へと手が挙がる５年生】

**「両川地区に，スマート農業は必要か？必要ではないか？」**

前時までに，両川地区の農業の実態を学び深めてきた子どもたちにとっては，この１時間の学びと融合させながら判断を迫られる問いでした。難しい問いでした。しかしながら一人一人が，自分事として捉え，思考し，判断し，表現していました。

実は，この問いに対する正解はありません。大人でも判断が難しい問題です。授業のねらいは，判断の理由付けの中に「日本の農業の実状や課題（学習内容）がしっかり入っているか」でした。

授業創りの極意を表す言葉の一つに「Ａさせたいならｂと言え」という名言があります。ストレートに「Ａしなさい」と言ったのでは，子どもの心は動かない。たとえ指示どおりに子どもが「Ａした」としても，それは子どもが望んでしたことではないのです。子どもの心をいかに動かし，主体的に「Ａしたい」と思わせるか。それが教師の工夫であり，私たちがプロとしての誇りをもつ部分となります。

さて，授業協議会では，授業の善し悪しが率直に出されました。一部をお示しします。

〇導入のＶＴＲが，子どもたちの興味・関心を引き出し，１時間追究し続けるエネルギーとなっていた。

〇普段の学級経営の成果だと思うが，学級全体に支持的風土があり，多くの子どもたちが安心してどんどん発言していた。

〇子どもが考えたくなる授業の中身であり，社会科の目的である「将来の主権者を育てる」授業となっていた。

**【市センター大矢和憲指導主事からのご指導】**

▼個で学んだことを友達と検討し合い，意見をつなげ合う時間がもう少しほしかった。

▼ズレや違和感を感じた子どもが，豊富な資料の中から，課題解決のヒントを自分で発見していくような仕掛けがほしかった。

‥具体的にイメージしにくい部分もあるかもしれません。しかしながら，敢えて示したのは，私たち教師が，子どもの追究意欲や，目的意識の醸成を第一に考えて，授業創りをしていることを知ってほしかったからです。

この授業を皮切りに，チーム両川のスタッフ全員が，理想の授業を求めて研究授業を公開していきます。保護者の皆様，そんな教師たちに，熱いエールを送ってください。そして，子どもたち！何と言ってもみなさんが主役です。先生方と協力して，ワクワク，楽しく，ためになる授業を一緒に創り上げていきましょう。先生方も精一杯頑張ります。

授業者 徳永卓教諭より

今回の授業は，今まで学習したことをつなげて，両川の農業の未来について自分のこととして考えることをねらったものでした。「緊張を楽しもう」と子どもたちには言いながら，「緊張するなぁ」と思っていた私も，子どもたちの真剣に日本の農業の未来を，自分たちが住む両川の未来を考えようとする姿を見て勇気が湧きました。改めて，子どもたちの頑張りに拍手を贈ると同時に感謝を伝えたいです。

【５年生の子どもたちへ】

緊張したと思います。不安もあったと思います。しかし，その中でも普段の学び，運動会での学びをつなげようとする姿が見られ嬉しかったです。授業の前に自分が決めた「１回以上手を挙げるぞ」「友達の意見をよく考えるぞ」「最後まで集中して授業に臨むぞ」といっためあてに向かって一生懸命でした。「緊張するなぁ。でも自分を成長させるチャンスだ！」「緊張するなぁ，でも頑張るぞ！」逆境をプラスに転化した姿だったと思います。ぜひこれを自然教室へとつないでいきましょう！